

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	予 算 特 別 委 員 会 総 務 文 教 分 科 会	会 議 場 所 第 3 委 員 会 室	
		担 当 職 員 山 内	
日 時	平 成 3 1 年 3 月 1 5 日 (金 曜 日)	開 議	午 前 1 0 時 0 0 分
		閉 議	午 前 1 0 時 1 0 分
出 席 委 員	◎ 福 井 ○ 木 村 三 上 浅 田 山 本 松 山 木 曾 石 野		
理 事 者 出 席 者			
事 務 局	片 岡 事 務 局 長、山 内 事 務 局 次 長		
傍 聴 者	市 民 0 名	報 道 関 係 者 0 名	議 員 0 名

会 議 の 概 要

1 0 : 0 0

[市長質疑項目確認]

<福井委員長>

今日は、昨日までの委員間討論の結果を踏まえて、市長質疑項目の抽出の確認をさせていただきます。

P 1、市長公室の「離れ」にのうみである。移住・定住促進経費であるが、「離れ」にのうみの稼働率の設定は妥当か、移住・定住促進施設として今後の施設運営の見通しは、ということである。

2つ目、生涯学習部から2点、文化振興経費、霧の芸術祭に係る経費について前年度から大幅に増加をしているが、事業内容をはっきりわかるようにさせることと、これが市民にとって必要で重要であるのかどうかということの2つの論点である。もう1点は、地域交流促進経費であるが、昨年9月議会の決算特別委員会における事務事業評価において「NPO法人と協議される際には、市としての考え方をしっかり持って対応されたい」との意見を付したところであるが、国・府補助金を充当し、NPO法人に委託して実施している隣保館デイサービス事業において、当該事業に係る実費負担分は適正に取り扱われているのかということである。

そして教育委員会が3点、不登校対策支援員配置経費については、不登校の児童生徒が増加傾向にある中で、学校がその対応に追われている実情にあわせて、支援員を拡充すべきではないのかということである。これについては、不登校も増えており、不登校未満の問題もあるので、目に見えている部分だけでは判断ができない部分も含めて質疑をしたいということである。

次は、学校施設管理経費である。これは雨漏り等の学校施設修繕については、早急な対応を求められている状況にあり、実施計画を立てて、年次計画的に修繕を実施するべきではないのかということである。大規模修繕は計画が立っているが、小さな修理も含めて緊急にやるべきことをやらないというのは、放置した結果であり、もっと将来を見据えて計画をたてるべきではないかということである。

放課後児童対策経費、これまでから制度拡充に努めていただいているが、「子育て・教育で憧れのまち」を目指す本市にとって、当該事業は大変重要であり、市としてさらに支援員の確保に向けて取り組む考えはということである。

<三上委員>

教育委員会の1番について、今年度は5人だった。5人を4人に減らしたことも申し添えてはどうか。

<福井委員長>

一緒に説明する。

10:10